

助成財団センターとは

助成財団センターは、1985年に設立されました。その後、民間の助成財団や経済界の出捐により、1988年に財団法人化され、2009年に現在の公益財団法人に移行しました。

助成・表彰・奨学等の事業を行う助成財団の情報センターとして、その活動や運営をサポートするとともに、助成を希望される方々と助成財団の橋渡しをおこなっています。また、助成財団の役割について広く社会に発信して社会的理解を深め、民間公益活動の発展・向上に寄与することをめざしています。

助成団体検索サイト“助成・奨学金情報navi”

助成・表彰・奨学等の事業を行う助成・奨学団体と、助成金・奨学金が必要な研究者や事業、学生にその情報が届くように、助成財団センターではマッチングのためのプラットフォーム「助成団体検索サイト“助成・奨学金情報navi”」を提供しています。助成・奨学団体の皆さまにWEB登録いただいた情報は、リアルタイムに更新されて、多くの応募者の方々は、容易に、多くの最新の情報を手に入れることができるようになります。

検索するなら **助成・奨学金情報navi**

公益財団法人 助成財団センター The Japan Foundation Center

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-26-9 ビリーヴ新宿4F

TEL:03-3350-1857 / FAX:03-3350-1858 / WEB:https://www.jfc.or.jp/

代表メールアドレス:office@jfc.or.jp

会場案内図



住所:東京都港区西新橋1-6-15 NS虎ノ門ビル11F(日本酒造虎ノ門ビル)



▲NS虎ノ門ビル
(日本酒造虎ノ門ビル) 3F・11F

- 東京メトロ銀座線
「虎ノ門駅」より徒歩3分
- 都営地下鉄三田線
「内幸町駅」より徒歩3分



公益財団法人 助成財団センター
「2024年度 助成財団フォーラム」

“変化”の先を見据えた助成事業の取り組みと これからのチャレンジ

～次世代の担い手をエンカレッジする視点から～

開催日時

2024年11月15日(金) 13:30～17:30

(懇親会 18時頃から19時頃まで)

開催概要・参加申し込み

会場定員
80名

開催方法

会場・WEBのハイブリット開催

会場: AP虎ノ門 11F Room C・D

東京都港区西新橋1-6-15NS虎ノ門ビル(日本酒造虎ノ門ビル)11F

▶懇親会会場…AP虎ノ門 11F Room B

WEB: Zoomウェビナー

参加費

●フォーラム

会員: 7,700円(税込)

※会員団体の皆さまは、1団体につき3名様まで上記参加費でご参加いただけます。

※4名以上でご参加の場合、3名様ごとに7,700円の追加参加費をご負担いただけます。

非会員: 11,000円(税込) / 1名

●懇親会(希望者のみ)

参加費: 6,500円(税込) / 1名

※懇親会の参加費は、フォーラム参加費とは別途となります。

※懇親会のみのご参加も可能です。

参加申し込みはこちら

<https://pro.form-mailer.jp/fms/a83a89de320942>



フォーラムのコンセプトとプログラムは次のページに記載しております。
ぜひ、多くの皆さまにご参加いただきたく存じます



コンセプト

複雑で予測が難しい現代社会においては、未来を見据え、今後起こり得るさまざまな社会的変化や、その影響を想像し、それに対応するための取り組みが不可欠です。より良い未来を築くためには、先験的なチャレンジが求められます。そのチャレンジを支援するためには、失敗を恐れず、率先してチャレンジをサポートする姿勢が重要です。

そして支援を行うための助成が、民間助成財団においては一層求められると考えます。近年の大規模な政府資金や準公金を原資とする多額な資金、新たなタイプの寄付金などは、ともすると「課題解決」を前提に短期的な成果やインパクトを期待する傾向にあると思われます。このような状況の中、「新たな価値」を追求し、柔軟で寛容な助成の

在り方を模索していくことが出来る事は、民間助成財団の強みだと考えます。本フォーラムでは、上記の視点を踏まえ、若い力に想いを馳せながら、次世代人材の育成プログラムを中心に基調講演と事例報告を行い、民間助成財団としての議論を深めていければと考えています。

プログラム Program

【第一部】 基調講演

14:00



多様化時代の民間助成に期待したいこと ～次世代の担い手の更なるエンカレジメントに向けて～

岡山大学 副学長 学術研究院ヘルスシステム統合科学学域 教授 狩野 光伸 様

東大医卒、聖路加国際病院、東大病院などで臨床医療を経験。東大院修了後、医薬工連携によりナノ医療研究開発の傍ら、東大医の研究者育成プログラム設立担当。2012年より岡山大教授。文理統合型の大学院ヘルスシステム統合科学研究科の設立主導。副理事として大学全体でのSDGs達成を推進し政府表彰に至る。2019年から2022年、外務省外務大臣次席科学技術顧問に初代委嘱。日本学術会議では若手アカデミー設立を主導し2020年より会員。文部科学省科学技術・学術審議会臨時委員、同省「政策のための科学」アドバイザー委員、本財団理事、JST CRDS特任フェロー、日本DDS学会理事など歴任

13:30 【開会挨拶】 公益財団法人 助成財団センター 理事長 山岡 義典

13:40 【来賓ご挨拶】

「公益法人制度(認定法)の改正および 公益信託法と民間助成団体への期待」



内閣府公益認定等委員会
事務局長
高角 健志 様

14:40
20分休憩
コーヒープレイク

1



1 高校生の社会に開かれた 学びづくりへの支援

一般財団法人 三菱みらい育成財団
常務理事 妹背 正雄 様

プロフィール
1990年三菱銀行(現三菱UFJ銀行)入行。人事部スタッフ人事室長、事務企画部部長、三菱UFJフィナンシャルパートナーズ(株)取締役社長等を経て、2023年3月より現職。

2



2 福祉系専門職を目指す学生への奨学支援 ～労働生産性向上に向けた研究助成まで

一般財団法人 篠原欣子記念財団
専務理事 小泉 忠 様

プロフィール
テンブスタッフ(株)入社。上場準備の為内部監査を立ち上げ、グループ会社の監査役を歴任。同社創業者篠原より財団法人設立の相談を受け、設立メンバーとして篠原欣子記念財団設立に携わる。

3



3 大学院生の奨学支援と グローバルネットワークの構築

公益財団法人 渥美国際交流財団
常務理事 今西 淳子 様

プロフィール
東京生まれ。学習院大学文学部卒。コロンビア大学大学院美術史考古学専攻修士。父の故渥美健夫鹿島建設名誉会長の遺志により1994年4月に設立された(財)渥美国際交流奨学財団に設立時から常務理事として関わる。2000年7月に元渥美奨学生ネットワークを基に「関口グローバル研究会(SGRA:セグラ)」を設立し、フォーラム、レポート、ホームページ等で、知日派外国人研究者の声を発信。1997年より、異文化理解と平和教育を目的としたグローバル組織の(公社)CISV日本協会の運営に携わり、日本やアジア太平洋地域で活動中。

4



4 生命科学分野の海外留学支援と 若手研究奨励

公益財団法人 上原記念生命科学財団
事務局長 長谷川 敬恭 様

プロフィール
大正製薬株式会社にて、医薬営業部門、マーケティング部門を経て、2021年より上原記念生命科学財団事務局長に就任

【第二部】 事例報告

15:00

第二部終了後
10分休憩

進行: 公益財団法人 助成財団センター 理事 渡辺 元

16:30 【第1部と第2部を踏まえて】

パネリストは第1部・2部の各登壇者・可能であれば高角様もご登壇

17:10 【情報提供:助成ニーズの変化に対応する新たな情報システム】

「助成団体検索サイト“助成・奨学金情報navi”」の活用法について
公益財団法人 助成財団センター 事務局長 高木 康雄

17:30 【閉会】

懇親会へ
(18時頃から19時頃まで)
於、同フロア【Room B】

懇親会のおしらせ

情報交換の場として、皆さまと有意義な交流のひとつをお楽しみいただければ幸いです。懇親会のみのご参加も可能です。是非奮ってご参加ください。お申込みは、フォーラムと同じフォームよりお願いいたします



【第三部】 質疑応答& 意見交換会 16:30

